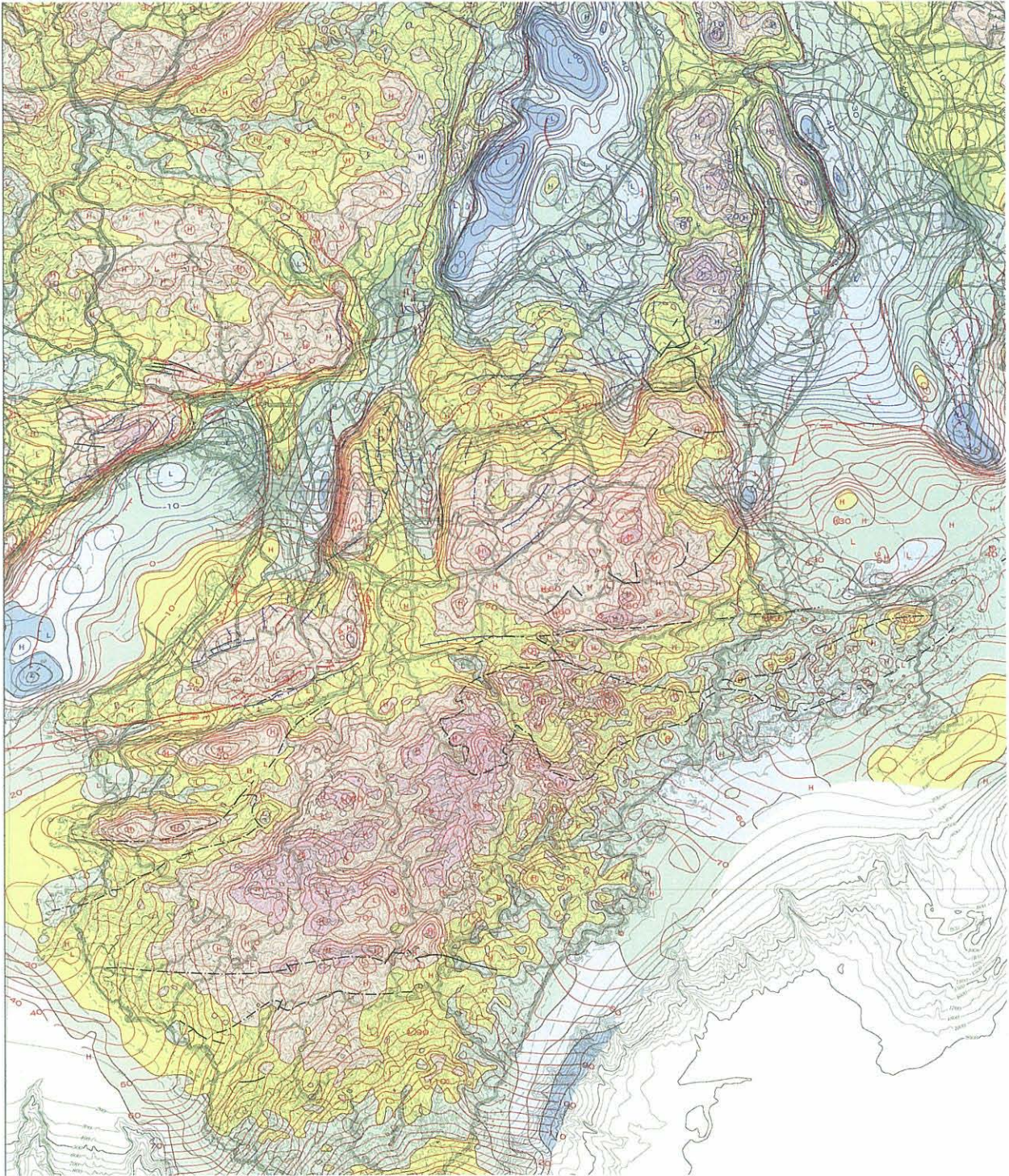


50万分の1活構造図「京都」(第2版) 重力構造図



「重力構造図」では、地下の密度構造を反映するブーゲー異常の等重力線を活構造分布と重ねて表している。正異常が赤色、負異常が青色で2.5ミリガル間隔になっている。また基盤の落差や基盤の概略的な起伏を示す重力基盤高度を500m毎に色分けして示してある。

<駒澤正夫・森尻理恵・広島俊男・村田泰章・牧野雅彦・名和一成>